

愛媛県歴史文化博物館

No.88

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成28年度 特別展



えひめの  
古墳探訪

はに坊と行く!

平成29年  
2月11日(土)  
▼  
4月9日(日)

観覧料 大人(高校生以上) 320円(260円)  
小中学生・65歳以上 160円(130円)  
※()内は20名以上の団体料金。他にお得な企画・常設展  
共通券もあります。

開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)

休館日 2月13日(月)、2月20日(月)  
2月27日(月)、3月7日(火)  
3月13日(月)、3月21日(火)

主催

愛媛県歴史文化博物館

後援

愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社  
NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ  
愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸  
八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ  
FM愛媛・FMがいや

えひめの古墳を  
見に行こう!



当館マスコット  
キャラクター  
はに坊

とべ動物園駐車場の下にある古墳  
(砥部町大下田2号墳・県指定史跡)

## 松平定行書状

松山藩松平家初代の松平定行が、家老久松清左衛門に宛てた書状で、豊前小倉藩主小笠原忠真の孫娘と三代藩主定長との婚姻について記しています。定行の書状は現在数通しか確認されておらず、貴重な一通になります。

隠居して松山にいた定行のもとへ、定長に従い江戸にいた清左衛門から、忠真孫娘の準備が整っている様子を確認した旨の報告が前日に届いたようです。定行は、縁戚の老中酒井忠清が進める縁談なので任せておけば問題なく、似合いの縁談なのですぐにまとまるだろうという見通しを本状で返信しています。末尾では定長妹の萬姫の縁組への気遣いも添えています。定長・萬姫兄妹は二年前に父である二代藩主定頼を亡くしており、孫の縁組を気遣う祖父定行の心情が伝わってきます。

表装も特徴的で、天には梅鉢紋、地には三つ葉葵紋と、久松松平家の家紋が金糸で施されています。裂地には吉祥文様として衣装などにも用いられた亀甲花菱文様があしらわれていますが、定行所用の衣装を転用したとみるのは推測が過ぎるでしょうか。藩祖の書状として大切に受け継がれたことを、豪華な仕立からもうかがうことができます。

(専門学芸員 山内 治朋)



年代:寛文4(1664)年4月10日  
サイズ:縦125.1cm×横68.6cm(本紙 縦18.1cm×横51.4cm)  
所蔵:当館蔵

「松平定行書状」は、テーマ展「松山城下図屏風」で1月29日(日)まで展示しています。

## 原田庄七著「上の巻・中の巻」



年代:天保14(1843)年  
サイズ:縦32.3cm×横21.5cm  
所蔵:個人蔵・当館保管

原田庄七藤原盈博(以降、庄七とする)は、天明3(1783)年に、狩浜浦(現西予市明浜町)に誕生しました。10歳から百姓仕事に従事し、16歳から商売を始め、努力と工夫を重ねて豪商となり、庄屋格の身分を得ました。

この資料は、庄七が16歳から61歳までの46年間の経験を天保14(1843)年に綴った貴重な自伝です。商品は、鯛・干鯛・塩・木綿・篠巻等を取り扱い、経営・接客・仕入・販売の方法・価格の変動等を詳細に記しています。資本が増すと、取引先を瀬戸内海東部まで広げました。子孫に対しては、博打や無駄な出資・遊女に溺れることなどを禁止し、これらを守って家業に精出してくれると「草葉の陰にて悦なり」(草葉の陰から悦んでいる)と書き残しています。また、庄七は、村全体の利益を考えて、地元枝浦のお旅所

を造成し、同浦春日神社に48段の石階段や石燈籠を奉納しました。それらは現在も使用されています。

久保高一著『明浜こぼれ話:郷土史方々録』(明浜史談会1980年)によると、晩年に新地(現枝浦漁港辺り)を造成しているさなか、完成まであと少しというところで大暴風雨のため水没してしまい、翌朝、庄七の姿が見えないので心配して探したところ、納屋で「さあ、次の構えじゃあ」と、藁を網んでもっこを作っていたということです。天保の飢饉では、手持ちの麦や塩をすべて抛出しました。庄七は、天保12(1841)年に火災で焼失した広福寺本堂の再建のために寄附をしたいと希望しながら、嘉永4(1851)年に行年69歳で没しました。そのため、翌年、同寺本堂が再建された時に子息が多額の寄附をしたそうです。

(専門学芸員 安永 純子)

平成28年2・3月の古文書講座でテキストとして使用しました。

特別展

# はに坊と行く! 「えひめの古墳探訪」

平成29年2月11日(土)～4月9日(日)

当館のイメージキャラクター「はに坊」が県内の古墳を探訪しながら、愛媛の古墳や出土品についてわかりやすく解説します。

関連イベント

## はに坊の発掘!古墳ケーキ

えひめの古墳をイメージしたケーキをつくろう。



日時/特別展開催期間中の土・日・祝日  
(ただし2月25日、26日は除く) 13:00～15:00  
各日先着10名  
参加費/400円(友の会会員は1回半額)

テーマ展

# 「おひなさま」

平成29年2月21日(火)～4月3日(月)

西条藩9代藩主松平頼学の夫人、通子の雛飾りを中心に享保雛、古今雛、次郎左衛門雛など、多彩なおひなさまの姿を紹介します。



有職雛(西条藩松平家伝来) 江戸時代後期/当館蔵

おひなさまイベント

## 十二単着付け体験



桃の節句にちなんで十二単の着付けを実施!本格的な十二単でおひなさまになっちゃおう♪  
事前申込みによる抽選制(各日8名)

日時/2月25日(土)、26日(日)  
10:00～12:00/13:00～15:00

場所/常設展示室内

※入場には常設展観覧券が必要になります。(中学生以下は無料)

対象/小中学生で身長130cm以上の方

※事前申込制 応募者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

※着付けに1人あたり30分かかります。

※撮影自由、着付けにかかる準備物は不要です。

【申込方法】

愛媛県歴史文化博物館ホームページから申込み。

(愛媛県歴史文化博物館ホームページから『参加しよう!』の「十二単着付け体験」をクリックし、申込みフォームに必要事項を記入の上お申し込みください)

受付締切日  
2月15日(水)

## れきはくのアシあと



開館記念イベントを終えて

平成28年11月12日(土)・13日(日)、愛媛県歴史文化博物館は開館記念イベントを行いました。今年が開館“22”周年ということで、“2”日間開催し、多くのお客様に足を運んでいただきました。12日は“えひめいやしの南予博”関連事業である「高校生食育ふるさと料理マルシェ」が開催され、高校生が開発したおいしくユニークなオリジナルメニューに、多くの方が驚かされていました。また13日は恒例のお餅くばりや呈茶会、当時の雰囲気再現した「実演!街頭紙芝居」など多くのイベントを開催しました。今回で9回目になるれきはく市&はに坊のどんぐりマルシェは、両日開催し、ステキな手作り雑貨やグルメで多くのお客様に楽しんでいただきました。ご来館ならびにご協力、誠にありがとうございました。

# 平成28年度 歴史文化講座 下期

## 考古講座 13:30~15:00

講座番号④ 特別展関連講座「特別展【えひめの古墳探訪】のみどころ」

日 時:平成29年2月18日(土)  
講 師:富田 尚夫(当館専門学芸員)

講座番号⑤ 特別展関連講座「えひめの埴輪を探る」

日 時:平成29年3月4日(土)  
講 師:山内 英樹氏(松山市教育委員会主事)

## 民俗講座 13:30~15:00

講座番号③「お遍路・礼所・地域から見た四国遍路」

日 時:平成29年3月11日(土)  
講 師:今村 賢司(当館専門学芸員)

講座番号④「宇和島・戸島歌舞伎について」

日 時:平成29年3月18日(土)  
講 師:宮瀬 温子(当館職員)

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

## 愛媛・大分交流講座

「大分県側の史料から見た大分・愛媛の地震史ー慶長地震を中心にー」

日 時:平成29年1月15日(日) 13:30~15:00  
講 師:櫻井 成昭氏(大分県立先哲史料館主幹研究員)

## 体験講座

講座番号⑨ 特別展関連講座「東予の古墳探訪」

(定員:30名) 日 時:平成29年3月12日(日)8:30~17:30

講 師:富田 尚夫(当館専門学芸員)

参加費:4,500円程度

対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



### 申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。

※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

## 歴史文化博物館友の会 会員募集

3月1日より平成29年度新規会員を募集します。  
友の会は、博物館を利用し、愛媛の歴史や民俗などに親しみ、会員相互の親睦を深めることを目的とした会です。

### 《会員特典》

- 常設展と企画展を無料で観覧できます。
  - 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
  - 友の会主催行事に参加できます。
    - ①研修旅行(年1回)
    - ②現地学習会(年2回)
    - ③クラブ活動(民俗、土器ドキ、裂織、古文書、パソコン)
    - ④特別展解説会
  - 季節体験イベントの材料費が無料もしくは割引となります。
  - 博物館の刊行物が割安で購入できます。
- ※会員特典は、変更になる場合があります。予め、ご了承ください。

### 《入会方法》

- 1.会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
- 2.郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873

愛媛県歴史文化博物館友の会

※ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。

### 《年会費(4月~翌3月)》

- 【小中学生会員】 500円
- 【高校生会員】 1,000円
- 【大人会員】 3,000円
- 【家族会員】 4,000円
- 【賛助会員】 10,000円



《お問い合わせ》 友の会事務局 電話(0894)-62-6222

## ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	
		小・中学生	大人(高校生以上)
常設展	小・中学生	無料	無料
テーマ展	大人(高校生以上)	510円	410円
	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。  
※団体は20名以上です。  
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

## 展示スケジュール

2017.1-3

2017	1	<p>「新春イベント」平成29年1月2日(月)・3日(火)</p> <p>テーマ展 「松山城下函屏風」 開催中(1月29日)</p> <p>テーマ展 「没後50年 永井刀専展 ー商業デザイナーの先駆者ー」 開催中(1月29日)</p> <p>テーマ展 「発掘 南予の遺跡 Part 3 ー考古収蔵庫に眠る南予の宝ー」 開催中(2月26日)</p>	<p>新常設展 和紙彫頭による「弘法大師空海の世界 密・空と海ー内海清美展(後半章)」</p> <p>常設展 えひめの歴史と文化</p>
	2	<p>「おひなさまイベント」平成29年2月25日(土)・26日(日)</p> <p>特別展 「はに坊と行く!」 「えひめの古墳探訪」 平成29年2月11日(土)~4月9日(日)</p> <p>テーマ展 「おひなさま」 平成29年2月21日(火)~4月3日(月)</p>	
	3		

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## Museum Calendar 2017.1-3

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	☆	☆	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31	☆	26	27	28	29	30	31	☆
29	30	31					☆	27	28					26	27	28	29	30	31	



愛媛県歴史文化博物館  
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成29年1月10日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館